

問17 コンパクトなまちづくりに関するご意見等を自由にご記入ください。

1. コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりについて
今後高齢化が進み、免許返納になると公共機関が近くにないと生活しづらくなる 自分も今後の事を考えると心配になる
体のいい「田舎の切り捨て」にならないことを切に願う。
高齢化社会、人口減に向けて、実現すると歓迎されると考えます。
高齢化が進み自治体の予算も限られるなか、まちづくりも効率化していく必要があると思います。過疎が進む地域にお金をかけるより、人とお金をまちなかに誘導するのが全体最適だと思います。
経済消費拠点（商店）が増えることによる賑わいより、文化交流拠点のような場が増える方が人のつながりが生まれのではないかと。特に倉敷の中心市街地の観光化は賑わいを生むことはあっても地域のつながりや人のつながりが増えるような場を作り出すことに対して、立地する商店の性格上（ほとんどが土産物屋で暮らしとは縁遠い商店が多い）相当困難である。コンパクトな町に人と人がつながる住居形態を作り出すことが今後の課題だ。
駅など交通機関が整備されていて、買い物病院など日常生活に必要なものが揃っているか、情報が有る程度手に入れやすいインフラと、小さくても（観光などの）魅力どころが有って、他所からも人の交流が出来る場所。 若者が想像力を働かせて楽しめる（可能なら古民家のリペア）新しい提案が町の一部で続く、柔軟性を持った市政の有る場所。
分散から集中へ街の構造の変化が必要では？徒歩または循環バスでどの年齢層でも買い物や病院など日常の行動に支障がないようにする。
コンパクト・プラス・ネットワークは、まちなかに、市民が集中し、いなかの方は、どんどん人口がへり、過疎化が急速に進む この土地をはなれられない、はれれたくない者にすれば、いい計画には思えない
一人暮らし女性、89歳です。現在車を運転していますが、いつやめるか考えています。近くに商店があり、図書館など、文化施設があり、緑豊かな治安の良い環境を望んでいます。できるだけ、現在のところに住み続けたいと思っています。最近タクシーが利用しにくいという声を良く聞きますので、車をやめた後の移動に不安を感じています。コンパクトなまちづくりが高齢者に優しい環境であることを望みます。
コンパクトなまちづくりの言葉の下に、便利な機能を都市部に集中することにより、郊外や辺縁部と言われる地域がより過疎化、住みにくくなることであってはならないと考える。国土の保全や自然環境の適正な活用のためにも、郊外や辺縁部と言われる地域でも、安心して公共サービスや医療サービスが受けられ、すべての人が安心して住み続けられるまちづくりを目指していただきたい。
郊外の持ち家に高齢でも住み続ける人が多いが独居や夫婦のみには部屋数が多すぎるし、郊外では運転免許も返納しづらい。車を所有し、家族の多い、若い世代に格安で住み繋いでもらい、高齢者はまちなかのコンパクトなマンションへ。持ち家志向を改め、人生のステージごとに住み替えしやすいまちづくりになるとよい。
地価が安いところに住宅等は拡がりやすいと思いますが、コンパクトなまちにまとめる方策はどのようなものでしょう。
どうしても、こういった事業は町の中心部から取り掛かる傾向にある。お金があつて移住できる人はいいが、そうでない人もは動くことができない。計画をするのは自由だが田舎の整備も忘れぬようにして欲しい。
コンパクトにみんなが住めるように集約すると、いざというときに全滅にもなりかねないかもしれない。好みや個性に合わせて、好きなところに好きなように、そしてその場所すべてが暮らしやすい環境にするのがいいと思います。
町中心の生活は非常に便利である。反面、田舎の過疎化が進行する恐れがある。高齢者の生活が困難になる恐れはないのでしょうか？。公共施設に遠く、自動車や自転車に乗れない人達の生活が時代遅れにならないければ良いのですが。
まちなかに集まって居住し、必要に応じて郊外にでかけたり、可能な人は二拠点生活を選択できるとよいと思う

問17 コンパクトなまちづくりに関するご意見等を自由にご記入ください。

<p>まちなかに集中させることは渋滞につながるので反対だ。 コンパクトなまちづくりよりも倉敷駅周辺の渋滞問題が優先的に重要だと思う。 それでも検証が必要であれば、真備町はどうだろうか？ 人口約2万人、土地にも余裕があり、井原線も通っている。 真備町の問題点は、倉敷、総社へ行く道路の朝夕の渋滞が激しい。 路線バスが走っていない。 小児科や皮膚科、整形外科などの病院が少ないなどである。</p>
<p>能登の2度にわたる被災を見て、コンパクトシティ構想がより必要があると思った、イオンなど郊外店舗など高齢になった今問題があると思います、東京一極集中は恐ろしい事が起こりそうです</p>
<p>田舎の過疎化が加速しそう</p>
<p>少子高齢化からの脱却を図れるようなコンパクトな街づくりを進めてほしいです。</p>
<p>免許返納したら、治安が良く災害にも強い賑わいのある街で暮らしたいです。どこに住んでも公共の交通機関で移動でき、自分の行きたい場所に気軽に行ける生活が理想です。倉敷は戦争で焼けてないからか、細い道が多く自転車に乗っていても怖い思いをする事が多いです。歩行者と自転車が安心して通れる道作りにも力を入れて欲しいです。</p>
<p>今現在では夢のような世界の話ではありますが、ぜひ実現してほしいと思います。 子供たちが安心して遊べる広さの、駐車場完備の公園がいくつありますか？ ドラッグストア、パチンコ店、葬式屋だらけで唯一の大型商業施設といえば天満屋ハッピータウンのみ。 子供の通学路にもかかわらず道路の道幅の狭さと言ったら恐ろしさすら感じます。せめてガードレールだけでも。 100年後の倉敷市に向けて頑張りましょう。</p>
<p>倉敷市は範囲が広くどのあたりの地域を優先して進めているのでしょうか？まちづくり、コンパクトシティの考え方は共感できますが情報がわからないので、市民に分かりやすく伝えてほしいです。</p>
<p>人により必要と思う施設が大きく異なると思うが、そのあたりの調整ができるのか疑問です。ただもちろん、進めないといけな事業であると思います。</p>
<p>全国的にみても災害の少ない岡山県なのだから もっともっとそれをアピールし 逆に人口を増やす政策を考えてみては如何か？ なにも馬鹿の一つ覚えで国の方針に従うのみの芸の無さにはあきれ そもそもコンパクトなまちづくりを推進すべきではない</p>
<p>コンパクトな街造りは素晴らしい考えたと思うけど、皆が皆賛同出来る人ばかりでは無いのでは？いち番に経済的な事が付いてくる。コンパクトな街造りが有るばかりに集合地ばかりが開発され郊外の生活がなおざりに成っていくのでは無いか？等、郊外に住んでいる市民は心配しています。</p>
<p>住居が小さな固まりで点在する能登地方の災害後の状況を見ていると、「コンパクトなまちづくり」の必要性は高い と思われる。 早急に具体的な「行政案」を提示してもらいたい。</p>
<p>市街化調整区域に住居を建てにくくする・市街地に住居を持ちやすくする施策を考案できれば(憲法上制限はできないため)。 青森市や秋田市のような大失敗をしないように。</p>
<p>後期高齢者夫婦です、先を考え、老人対応病院、介護施設、散歩で、食事買物出来るスーパー等が、同じ町内にある地区を研究して、先月、転居した。倉敷に住んで高齢の今後で最も恐れたのは、今は軽自動車を運転し、病院、大型スーパー等を利用していますが、免許更新が無理になった時、“陸の孤島”に化し、生活破綻？。そう考えて、“高齢者夫婦に都合の良いと思われる地区を研究して今のうちに転居した。“実験的転居？”</p>
<p>コンパクトなまちづくりのために住まいを変えるのであれば、家賃や土地代金が安くならなければ難しいと思う。</p>
<p>「まちなか」に集約したとして、郊外からの移動手段は保証されるのか、民間であれば、採算のこともあり、いつ無くなってもおかしくないのではないか。また、かかりつけ医など地元密着のシステムはどうなっていくのか。目標はわかるが、そのために相当な努力と費用が掛かるのではないか。</p>

問17 コンパクトなまちづくりに関するご意見等を自由にご記入ください。

公共交通が、ある程度整っている環境と、災害等に対するリスクの少ない状況があること。また、人がつながることのできる、行事・活動が必要だと感じます。地域のつながりにより、人待ち環境が調和した街づくり場可能になることができたらと感じています。
商店と総合病院が隣接されていて交通機関が充実している状況
まちづくり以外の地区がますます寂れてしまう。老人が多いのはそういった地区です。その対策も並行して考える事が必要では。
メリットデメリットの両方があると思う。
すべての市民が心地行く生活できるまちづくりを望みます。
・「拠点」選びを間違えないようにしなければならない。(すでに、立地適正化計画では真備地区の拠点を間違えている) ・コンパクトなまちづくりを進めることによって、一極集中が懸念される。
船穂町にはスーパーマーケットが無くて高齢者にはとても不便である。助成金(借地代)をだして出店を促す。
高齢になると免許返納なども考えるようになるので、そのあとに買い物や通院などがしやすい暮らしを考えると、コンパクトなまちづくりはぜひとも必要かなと考える。が実現はなかなか大変そう
中心部のことばかりで郊外に土地を持っている人の事は考えないのでしょうか? 我が家は倉敷市の端っこで生活は岡山市・早島で済ませることが多く 倉敷市には今更期待などしていません 倉敷駅周辺は慢性渋滞で魅力ある店舗も無く行き気がしません
イメージがあんまりわからないが、市街地と田舎との格差?の様な事が起こらないか?なあとと思う
現在、倉敷市内の郊外住宅地に住んでしますが、かなり、商店、医療、最寄り駅、銀行、など近くにあり便利な地域です。現在、すでに、かなり、コンパクトなまちになっていると思います。自分の地域だけでなく、倉敷市内の、他地域の状況などが、少しだけ、気がかりではあります。
少子高齢化で人口はどんどん減少していく将来を考えると”コンパクトなまちづくり”は必要不可欠なものと思います。現在検討されている「コンパクト・プラス・ネットワーク」の内容をさらにブラッシュアップした街づくりを期待しています。
今後の高齢化社会には必要。
実現できれば利便性も高まって暮らし良くなる。計画の推進を望む。
人の渋滞、待ち時間が増えるのは困る
一極集中ではなく、人口を分散させ、コンパクトシティーを複数構成してそれぞれを繋げていく街作りがいいのかもしれないね。
できたら便利だと思います。
生活する上であらゆるものが身近にある街づくりは大切だと改めて実感しました。
人口が減少することは予想できているので、それに合わせて限られた予算で対応していくことはとても大事なことだと思います。
人口減少社会に向かい、多額の借金を抱える国の財政状況の中で社会インフラを維持することは不可能なので「拠点での暮らし」にしていくことは必要不可欠だが、強制的に中心部に集める施策をしないと絵に描いた餅でしかない。
公共交通、ライドシェアの充実整備。免許返納時に自身で動ける範囲内に必要な施設がある事が望ましい。
あくまで理想であって現実には、無理なことだと思います。全員が住めるわけがないので、安易に発信しないことを望みます。理想の住まいを見つけるのは、政治家ぐらいしか住むことができないと思います。一般市民は、生活するのが一生懸命な人が多いのですから理想を、語らないでください。
現在は車がないと不便だが、車がなくても不自由ない暮らしができるのならよいと思う。

問17 コンパクトなまちづくりに関するご意見等を自由にご記入ください。

倉敷市は倉敷、水島、玉島等に分散してるのでここをどう考えるかだと思ふ。 分散を長い年月かけて3つ程度に集約していくのも1つの手ではないかと考えます
若い世代を呼び込んで人口を増やし賑わいを創世する為には、この政策は逆効果だと思ふ。コンパクトにまとめた後、学校はどうするつもりか？そういった学校教育も包含した行政となっておらず、早く改めた方がよい。 賑わいのある倉敷市を作る為には、早く現在の宅地開発の規制を緩和し、市の住めるエリアを拡大すべきである。 この数十年、都市計画も満足に達成できていない行政の現状を踏まえ、見直しをすべきです。
老後に車がなくても生活出来る環境は必要だと思ふ。でないとも免許返納が出来ない人もいる。また、適度に自然ともふれあえるのが理想ではあります。真夏にコンクリートだらけの野外はしんどいです。
高齢になって免許返納したら、買い物で町まで出かける手段にも困る。 タクシーカードで、安く手軽に利用できるようにしてほしい。 そして、タクシーで街まで行ったら、買い物だけでなく、病院や銀行など、歩いて用事が一度に済ませるよう、コンパクトにいろんな施設を集めて欲しい。
いくらコンパクトなまちをつくってもあまり活用されず逆に不便になる可能性もある。今住んでいる場所には住んでいる理由がある。転居のハードルはかなり高いのでは？倉敷駅周辺だけを整備しても年寄りには余り意味が無いような気がする。倉敷市には大体5つの地区があるがそれぞれにそれなりの拠点を造らないと駄目だと思ふ。
自家用車がなくても各自が自立して安心して生活が送れるようなまちづくり。 その土地の特色を活かしたまちづくり。 例えば児島なら景色がいいので大きい病院を誘致して人間ドックなど最新の検査ができるようにしてホテルのようにゆっくり過ごせる施設などを作る。 緊急性が低いため、街なかの混雑した病院を避けることができる。
ひとが密集しすぎなければいいと思ふ
考えはいいですが、イロイロ考えてみて現実に照らせ合わずと難しい。できない。と思ひます。視点を換え、住みよい街とおはどんなことか、年齢に合わせて考える必要があります。初めからコンパクトシティと決めつけないほうがいいですよ。
人口減少でコンパクトシティにしないと公共事業の費用が莫大になるので、生活環境を維持できなくなると思ふ
同様のアンケートに定期的に答えてはいるが正直なところあまりコンパクトシティが進んでいるような実感はない。
便利なところに住みたいが、土地が価格が高騰することにより、地方しか住めない場合もある。 地方からのアクセスのしやすさが重要だと思ふ。
何を以てコンパクトの基準とするかが明確ではないが、玉島は既にコンパクトな町であると思ふ。 殆どの必要とする施設やお店が町の中に揃っており、あまり不自由がない。 バスなどの整備は、運転手がない問題、経費が掛かる問題は解決しない課題だと思ひている。
早急に実現できるようにしてほしい
全ての人々が、自由に移動する事ができる権利を持っているという考えで公共交通との調和を考えないと、結局は周辺部の過疎化がすすみ、生活に必要なサービスを容易に受けることのできる者とそうでない者との、格差がさらに広がってしまう。 今から考えて行くべきことである。
他のコンパクトシティをよく県空して、企画して。
公共交通機関を充実させて、自家用車無しでも生活出来る、最低限必要な施設が近い距離で纏まっていると暮らしやすいと思ひます。 年齢が上がって来て、自家用車で移動できなくなった場合に、今の住居では買い物、通院が不便な場所のため、コンパクトなまちがあれば移住も考えたいです。
コンパクトなまちづくりにぎわいがありよすが、心が安らぐゆったりとしたまちを望みます。

問17 コンパクトなまちづくりに関するご意見等を自由にご記入ください。

コンパクトとは小さな田舎町を作ろうとしている？車社会の倉敷市の現状を変える事は不可能に近い商業施設は郊外型、駅周辺は道幅狭く混雑している。都市計画の為住宅地は小区画で道幅の狭い宅地が許可なく作られ迷路の様になっている大規模宅地を許可する都市計画をしないと計画的な都市はできない。コンパクトでは無く街を広げる市作にして玉島児島中庄真備をどの様に繋げて大きな都市を作って行くかを計画的に進めて欲しい。
人それぞれ価値観は違うので住みたい場所はそれぞれ。行政が強引にコンパクトシティを推進するのはいかかと思う。ただ今後の人口減少を想定するとインフラの維持にコストがかかるのも事実。倉敷はいくつもの自立したまちが合併してできた市という特徴があるのだから、まちごとに、若いときはまちなかで、子育ては緑豊かな郊外で、年をとったら再びまちなかへという住み替えの循環ができればいいと思う。
私の住んでいる辺りは、街中でなくてもスーパーも病院も公園、図書館などもあり、臨海鉄道、バスもあるので、コンパクトな街づくりはだいたいできていると思います。臨海鉄道やバスの本数は少ないけれど、物凄く困るほどではありません。
車がなくても高齢者が日々快適に生活できる街になってほしい
年代によって、重視する項目多少違うかと思うけど…選択肢全てを網羅するコトが出来るなら？ 全て叶えて貰えたら、ずっと住み易いかと思う。
コンパクトな街づくりは必要だと思うが、それによって、ゴミゴミした街になるのも如何なものかと思います。ほどほどに田舎と街が共存できれば良いですが。
高齢社会になり、街づくりは、有効だと思う
倉敷市のような人口減少下にある地方都市ではコンパクトシティ化構想は必須のアイテムだと考えます。これが遅れると、広域なインフラの維持にも影響が出て、人口減少の歯止めがきかない寂れた過疎の街となりかねません。この構想の最大の問題は、都市インフラを守る誘導地域へ地域外に住む人々を（同じ市内とはいえ）移動させることができるかに尽きます。感情的にもつれさせないで移動をなすための施策が最大の問題だと考えます。
実現すれば便利であるが、離れた場所に住みたい人もいるし、現在住んでいる人もいる。その人たちの疎外(その人たちの救済措置のなさ)が進行する。また、コンパクトになっても不便さは無くなりほしくない。逆に窮屈に感じることもある気がする。
自転車でもどこでも行けると車がいらなくなる
いいと思う
中心部に集約するのは賛成です。 バスや、乗り合いタクシーなど交通機関と連携して計画してほしいです。 現状、倉敷駅周辺は倉敷中央病院くらいしか救急対応できないし。 生活するよりは、観光地なイメージで生活できる感じがしない。
コンパクトに人が集まることで、限られた予算で集中して投資することができ無駄を省ける。能登の災害のような集落や家が孤立することがすくなくなる。 しかし、長年住んできた土地を離れることはむづかしい。
前回アンケートでは強制的に移住させられると勘違いしている人も散見されたので、しっかりと説明していただきたい。また住民はそれぞれ思い通りのことを言うと思うが、財源が無尽蔵にあるわけではないので、街に移住することに抵抗のある人は、ある程度の不便さは仕方ないことを理解してもらってほしい。
自分もだんだん歳をとってきますのでコンパクトシティの取り組みは進めていただきたいと思います。日本全体が高齢化するので、今までと同じ様な生活ができるわけではないと住民も意識を変えなくてはいけないと思います。
これから将来にかけてのインフラの老朽化、高齢化、人口減を考えたら、コンパクトな範囲内は整備されたインフラで公共交通で気軽に移動出来る仕組み作りが必要かと思っています。
地価の高騰、渋滞が懸念される。そもそも倉敷中心部は古くからの地主や企業が土地を所有しており、まちなかに集約するとそれらに更なる恩恵が与えられることになるのではないかと。駅の北側の再開発も進んでいない箇所があると耳にする。税金を投入した上一般市民を住みにくくする結果になるように思う。 市営団地の整備の検討も急がれる。
将来、運転免許証を返納した後の生活は、公共交通機関や店、病院などが近くにあるような街に住みたい。そのようなまちづくりをしてもらいたい。

問17 コンパクトなまちづくりに関するご意見等を自由にご記入ください。

近くにいろいろあるのは助かります、これから車を持たなくなると不安です、緑と調和してほしい
今ある先祖代々の土地や家はどうすれば良いのでしょうか？街中集中も必要かもしれませんが、既存の各市営住宅等を有効利用し介護住宅にする、そうすれば訪問介護の方々にとっても良いと思うし、そこから病院や買い物への送迎も乗り合いでスムーズに行えるのではないのでしょうか？それと、街中でコンパクトにと言うのであれば街中には交通弱者となる老人に住んでもらい、郊外は若者に住んでもらう事が必要では？
とても住みやすそうだけど土地とか物価も高そう
必要ですか？ 農業はどうするのですか。 拠点以外の場所はどうするのですか。放置ですか。
一部の人だけの為の政策が要らない。現実的に移転出来んでしょ！田舎の方は放ったらかし！
倉敷市は車がないと生活出来ない環境です。いまはまだ車を自分で運転できるので不便は感じないけれど免許を返納した後の生活は本当に不便で行動範囲も狭まると思います 現状では未来に希望が待てないです コンパクトプラスネットワーク早急に整えてください。スピードが大事だと思います
移動が楽。移動に躊躇しない環境。
コンパクトなまちづくりは理想だが難しいだろう
こんなこと可能なのだろうか
免許が無くても生活できる
一定の場所に施設を集めるのではなく、各小学校区ごとぐらいで小さい子供からお年寄りまでが集える場所が必要だと思います。 施設を集めて作っても、そこまでの交通手段などの問題があるので今、住んでいる地域で困ることなく暮らせるのが1番いいと思います。 地域によって乗合バスやタクシーがあつたりなかったりで住みやすくするには拡充が必要だと思います。 よろしくをお願いします。
難しい課題であると思います。 いろんな方向性が生まれることを期待しています。 頑張ってください。
コンパクトに執着しすぎないで頂きたい。ストレスのない移動手段で誰もが目的を叶えられる、範囲に生活に必要な施設に行ける。年齢によって移動手段は違って良く、移動手段によって距離は違って良いと考えます。
・現在住んでいるところに住み続けたいという人を移動させるのに莫大な費用がかかると思う。 この計画は新規に住居地を決めた場所で試行すべき。 ・現在住んでいる場所の防災を優先した街づくりをお願いしたい。
車中心から 人中心の社会に 変えていくべきです
自分の好きな環境を選択して居住しているので、行政がまちづくりを指導する必要はないと思います。また、まちなかには魅力がある施設がなく、施設をつくる場所もないですね。
机上の空論であると思います。実現に向けては住人の理解が何より必要。理解を得るためのエネルギーは相当なものになる。 それよりも年が経てば郊外人口の減少で自然にコンパクトシティなるのでは？
人が住みやすい街を考えるのはもちろん大切だが、郊外の人口が少なくなっていく地域に人の目が届かなくなる事の懸念、自然環境の整備、環境破壊、災害時の対策、外部からの侵入者等での治安の悪化、不法投棄などの対策がとても重要だ。これらは現在住民の手で守られているが、公的機関でも対策を強化しなければならないと感じる。
将来、車を運転しなくなった時にこのコンパクトなまちづくりが完成されていれば本当に暮らしやすくなると思うし、そうなって欲しいと切に願います。
どの年代の方でも安心して暮らせる。 不自由のない街づくりが必要だと思います。

問17 コンパクトなまちづくりに関するご意見等を自由にご記入ください。

良い活動だと思う。高齢化が進むとさらに必要性が増すと感じた。
集約は必要になると思いますが、地域の伝統や文化が失われることへの対応(記録や物品の保存等)も考えていただきたいです
人口減を考えるとコンパクトな町が必要なことは理解出来ます。個人の自由が守られどこでも自分の暮らしたい所で暮らせる自由は保障して欲しいです!
誰もが安心して住みやすい生活になるなら、コンパクトなまちづくりを進めるべき。
コンパクト=街中でも、家賃は高くないでほしい。
いいと思うが、空気が悪そう
どの世代も安心して穏やかに生活できるからこそその地域の発展だと思っております。教育、医療、福祉などが充実している地域は住民も心の余裕があるように感じます。コンパクトなまちづくりは人づくりに繋がり、その地域の顔になります。特に倉敷は観光地を持つので多くの他地域の目に触れる機会があるので立地適正は重要だと思います。
該当区域内への転居を促進するため、区域内の住居購入の補助が欲しい。
大歓迎です。
駅近などに集合してるといい
年齢によって求める環境が全く異なると思う。子供が独立し60代になると身体の衰えから身近に必要な施設がある環境を望む。あまり遠出もしないから鉄道より徒歩やバス、もっと高齢になればすぐにタクシーをよべる、クリニックやスーパーがすぐ近くにあるという事が優先される。郊外の大型施設や公園より徒歩5分圏内にある施設が大切という事。免許証返納した後、生活が安心してできる街づくりを望む。
日常生活に必要な身近な買い物環境が整っていれば充分ですし、自然災害を対策して、環境にやさしく災害に強いまちづくができたなら、贅沢で大掛かりなことをしなくてもコンパクトでありがたいです。
愛着があると言う理由で住み慣れた町、生まれ育った町に居続けることは個人の選択で不便を享受するしかないと思っている。自分の能力(身体機能、収入)で、ある程度自分で生きていける場所を選ぶのも必要だと思う。 行政としてある程度インフラ、サービスを集約してここまではやる、これ以上は整備しないという線引きをしても良いと思う。守備範囲がある程度絞られれば、手厚くケアもできると思う。
倉敷は埋め立てが多く液状化になるところが多いため、援助をだすなどして、引っ越しがあってもいいとおもう。いきている間にも液状化になればの話で、できれば住み慣れた家にすみたいとおもう。またコンパクトにすると人が密集するため過疎化や空き家が増えるなど心配なこともある。そこを上手く活用できたらもっといいおもう自然が多く災害の少ないところに住みたい人には定期的にお店に行ける無料バスなどがあるといいとおもう
弱者に優しいバランスのとれたまちづくりを希望します。
難しそうです。時間はかかると思う。近くに住むことが出来ればいいと思う。
どこへ行くにも自動車は必須なので、コンパクトになることで自動車に乗れない人も助かるだろうし、歩きや自転車に乗る機会も増えていいと思います。また、空き家も活用していけることもいいなと思います。 コンパクトなまちづくりの範囲外に住む場合は不便な思いをして暮らす方もいると思うので、その辺りの対策は気になります。
誰もが生活しやすい街作りが必要
歩いている人が多くなるように歩きやすく楽しい街を希望します
公共交通機関を維持するためにも、ある程度機能を集約した街づくりが必要とは思う。
自家用車ではなく、公共交通機関が整備され、買い物や通院、通学が便利なまちづくり。
倉敷では、公共交通機関網が弱い。コンパクトなまちづくりより、倉敷(旧市内)で、交通網を整備して欲しい。また、倉敷市役所周辺を活性化させて欲しい。運動関係は、福田公園・マスカットへ集約。 倉敷駅から古城池の坂までの南北ライン。倉敷駅から、西3Km、東は中庄までの旧2号線の東西ラインを軸に、都市計画をしてもいいのでは。

問17 コンパクトなまちづくりに関するご意見等を自由にご記入ください。

より多くの方が、便利で安心、安全なまちづくりにして欲しいと思います。多額の費用もかかってくるのではないかと思うので、その負担が大きくなって、市民の生活が苦しくならないことを祈ります。

2. 公共交通について

公共の交通機関を身近に利用できる整備を願います

公共交通機関への財政援助を行い廃止路線をなくする

倉敷市は特に公共交通機関の便が悪い為に、民間業者の参入を促し高齢者でも安価で好きな時間に移動が出来る手段が必要である。空き家登録を行い、持ち主が処理をキチンと行わないのであれば県の財産として没収してでもそこを更地にして、販売するといった方が緑地減少も無く現実的である。

むやみに宅地開発等せず、既存の空き家、宅地を有効に使えるようにして欲しい。自然災害の激甚化に伴い被害を防ぐ工事も重要だが、被害を受けても復旧しやすいまちづくりの視点も欲しい。公共交通機関は必要不可欠で、使いたくても便数が少ないから結局、今は車やタクシー利用になってしまう。もっとコンパクトなサイズのバスで良いのではと思う。

倉敷の市街地は日常生活に必要な住環境やサービス環境はすでにそろっていると思う。

中心市街地に住むことは無理にしても、その周りに住める住環境の整備が必要。

住みたい中心市街地へ行く公共交通網（鉄道・バス・タクシー）は充実と云うより、衰退し続けている。

中心市街地の空き地、空き家対策を重点的に進めて欲しいところだ。

バスの便を増やす（市が補助金を出す）

公共交通網の整備

身近にバスが無い。

15分に1本くらいの率で走るバスが身近にあると、車の利用は減らせると思います。

行動変容を起こすには、それくらいしないと難しいと思います。

町中に新循環型交通網を設置を。

高齢者は公共交通を使えません。 タクシー補助 月額2~3万くらい または地域の乗り合いタクシーが欲しい。手押し車、車椅子が安心して通れる道路は 地域住民全員の安全になります

新幹線の下側の側道を岡山・倉敷行きバスを運行してほしい

公共交通機関の充実が更に必要と考えます。

気軽に利用できるコミュニティバスやタクシーが充実する事を願っています。そろそろ免許返納も考えていますが、路線バスの便も減り、不便さを実感しています。

高齢者手帳を提示すると、タクシー、バスをいつでも半額で利用できると嬉しいです。

総社市が行っているような予約制の乗り合いバスを整備してほしい。

路線から離れたところに住む人にも優しく、バスも小型できるし、無駄に走らせることも減る。

車の運転ができないので、自宅周辺に公共交通機関があることが一番です。バスの便数が減ることは、残念で、困ります。緑の多い町がうるおいがあって、いいのですが、維持管理が大変です。。難しいです。

将来における高齢者への対応を考慮すると、免許返戻等による公共交通機関の更なる充実が不可欠になるだろうが、費用面で対応が難しい状況にあると思うので、どう考えどう進めていくのか注目しています。

最寄りのバス停は減便が激しく、利用できない状態。駅まで行くのも大変。せめて玉島の中心地までの行き来が楽になれば「コンパクトなまち」となる。高齢者の免許返納をもっと進めて、それに代わる交通機関の開発をして欲しい。

以前と比べて、バスの本数が減っているのでも、どうしても移動に関しては集中型になっていくと思う。

バスの充実もいいのですが、終バスが早いので、利用価値があまりないように感じます。

田舎に住んでいます

今は自分で運転できますが、いずれは免許返納も視野に入れられないといけないので、自力で病院、買い物などの移動がスムーズにできる環境がほしいです

問17 コンパクトなまちづくりに関するご意見等を自由にご記入ください。

<p>現在住んでいるところに住み続けたい その場合、車の運転ができなくなったら外出が不便になる 交通機関がないので、コモにティーバス等の開通が必要である</p>
<p>高齢者の移動手段として、自動運転のコミュニティバスが街を走れば、免許返納も進むし、高齢者の交通事故も減ると思う 田舎は買い物や通院難民になるから、なかなか車が手放せないでいる バス、臨海鉄道などの便が多ければ利用しやすいが、少ないので・・・</p>
<p>コンパクトにしても「何を中心？」にまちづくりをするのかで大きく方向が変わってくると思う。</p>
<p>倉敷駅前がアチテラスが出来たり発展して便利になったかもしれないが、倉敷駅まで徒歩30分程度でも利用できる公共交通機関が少なく不便です。もっと離れたところになると、更に不便で自家用車がないと暮らせません。</p>
<p>安価な公共交通機関と本数が必要だと思います。</p>
<p>公共交通機関が難しいならコミュニティバスや乗り合いタクシーなどが利用できるとありがたい 倉敷は車がないと生活しにくい</p>
<p>交通手段が確保出来れば近くにお店が整備出来なくても困らないと思う 現在は、自分で移動できるが、将来的には難しくなるはず 乗り合いタクシーや、乗り合いバスなど、交通手段の多様化を実現してほしい</p>
<p>バスの運転手不足等、公共交通機関を利用したくてもできない可能性も今後あるため、車の自動運転などの整備もしてほしい。</p>
<p>バスでいいので路線を増やしてください。 片島町あたり全くありません。 西阿知駅まででいいのでバスがあると将来安心します</p>
<p>現実的には金銭的に住まいを移動できない人が多いと思うので、移動手段の充実を考えて欲しい。</p>
<p>まちなかに暮らせる人はごくわずか。倉敷市はのどかな田舎の地域が多いので、まちなかをすすめるよりも、バスやタクシーを充実させて欲しい。</p>
<p>公共交通をもっと便利にする。</p>
<p>田舎は多くの方が車が運転できなくなったら困る場所に住まれており、公共交通機関を利用できる場所までの移動に困られる方が多いと思います。今現在の独り身の方でいらっしゃるご高齢の方が公共交通機関を利用できる場所まで移動できる手段や仕組みがあると良いと思います。</p>
<p>駅まで歩く気になれば歩ける所に住んでいるが、バスなど公共交通手段が近くに無いことが悩み。タクシーに乗るには近くて気の毒に思って乗れない。気軽にのれるバスもバス停留所が遠くて乗る気になれない。もう少しバスの路線を増やして近くで乗れたらもっと出歩けそうだが。</p>
<p>交通手段の充実がとても大切だと思います。</p>
<p>高齢になると気になるのは移動手段です。自動車もいずれは手放すと想定されます。 交通手段が安定することが、生活の安心につながります。</p>
<p>岡山県は田舎が多い中、倉敷市はまだ充実している方だと思います。 ただ場所的にはバスや電車がないので、高齢になった時に交通手段に困るだろうなと感じています。地方交通をもっと考えてもらいたいです。</p>
<p>高齢者の免許証返納推進のために年間10万円程度支払えば公共交通機関乗り放題のパスポートを発行する。 車の年間の維持費のことを考えると自宅の近くから利用できるのであれば、私は老後利用したい。</p>
<p>コミュニティバスや自転車レンタル、電動キックボードレンタルなど、気軽に街中まで行けたり、巡ることができるような交通手段を整えて欲しい。 また、人が集う場所であるべき駅にあるテナントに魅力が無いので「電車に乗るため」にしか利用することがほとんどなく、たまにスターバックスに寄る程度。天満屋が高齢者しかいない。</p>
<p>公共交通機関が身近にある</p>

問17 コンパクトなまちづくりに関するご意見等を自由にご記入ください。

公共交通機関が整っていて、本数が多い
3. 防災まちづくり・災害について
理想的な内容ではあるが、実際に実現可能かのイメージがなかなかわからない。古くから住む住民や、逆に今まさに子育てや共働きに苦労してそれどころではないという世代には響かないかも？と感じてしまう。ただ、災害・防災に関する意識は一般市民の間でもかなり高まっているので、その辺りからのアプローチを行えば市民の意識を向けることができるのでは、とも思う。
大商業施設は近隣に必要なはなく、治安良く保たれ、老若男女問わず住みやすく、昨今増加傾向の災害に強い街づくりが出来れば、これ以上はないと思ってます(クルマや公共交通機関があれば、ある程度行きたいところへ行けますから)
あまり一点集中的な街を作ると、いざ災害が起きた時に壊滅的な被害を被ることがあると思うので、コンパクトすぎず、まばらに街を作る事が望ましい。昨今の災害では水が関係する事が多いので、洪水や浸水被害のない街作りが重要になると思う。
家の周りは浸水1から2m。みらい公園ですら安全な場所では無い。 市民が安心出来る街づくりを望みますら、
倉敷駅北側の地区で都市計画により建て替え中ですが災害対策が不十分と感じた。 昔と変わらずいたるところに電柱が立って本当に災害対策を検討したのか？ と感じますね。
コンパクトにしてしまうと、自然災害等が起きた時に、地域全体が全滅もありうる話ですよ？その辺りがどのような考えになっているのかと思ってしまいます。
ハザードマップで倉敷市中心街は水害と地震の液状化による被害が大きいと記されています、わざわざリスクの高い市街地に居住するより、災害の少ない現住所に住み続ける方を選択します
岡山県は自然災害が少ないですが、自然災害が多発していて災害対策の街づくりが早急に必要だと思えます。
災害列島に居住してる意識を持つ
4. 公共施設（施設、公園、道路等）整備、景観・都市環境について
ごみごみしていなくてゆったりした広い公園があるような空間のある町
大規模開発に多額の予算を使うより、不便や不満を感じている身近な問題に使うべし。生活道路の整備、交通安全、イノシシ被害、18歳までの医療費無料化、給食費の無料化・・・ 都市計画区域（市街化・市街化調整区域）を見直し、市街化調整区域をむやみに開発させない。 公共施設が調整区域に建っているのは残念です。
児島駅前の公園潰しに反対。 空き公共施設の一般開放の促進。
施設を集約するだけでは、おかねがなくてまちなかに住めない人も多く出てくると思う。 だから、まちなかまで容易にアクセスできるインフラの整備が必要だと思う。
朝夕の交通渋滞をバイパスなどで緩和
中庄には公共施設がない 水島ばかりある 公共プールを中庄に欲しい
車椅子、ベビーカーなど、どの世代にも快適に暮らせる街作りが望ましい。 歩道が狭い、自転車道が少ない、狭いなどの問題点を改善してほしい
倉敷駅周辺は道が狭く通りづらい。(車も自転車も徒歩も) 大きな病院や市役所が倉敷駅から徒歩で行けないのは不便。
中心部にアクセスする交通網を整えないと、中心部と郊外との格差がますます広がってしまう。
コンパクトなまちづくりを進めていくと思っていたのに温水プールが福田に集約されるのが納得いかない。
車が渋滞しない道路交通環境が必要。
人口減少に伴うインフラの維持整備費用の捻出が困難になりそう。 その為の政策を将来に向け今から検討及びビジョンの策定を行い、広く流布し浸透させる事。 将来はバラ色ではない事の周知を図る。

問17 コンパクトなまちづくりに関するご意見等を自由にご記入ください。

天満屋の東側にある寿町の踏切を立体化するべきです。倉敷駅ホームを2階にした時に既にその構想があったと聞いています。県が市がと言っていたら、永久にできません。私は白楽町在住ですが、あの踏切が開かずの踏切なので、なるべくそこを通らず、老松町の線路の下を通る道路を通っています。
倉敷は道が狭く特に駅周辺。渋滞も多い。施設だけ整える前に道や信号の見直しをして欲しい。
町中に高層階の市営住宅が多数有れば安心安全なコンパクトシティが可能かな？
西阿知地区に、子供支援センターや、小学生の遊び場がもっと充実して欲しいです。
現状、免許返納を意識しない年齢で、なおかつ持病の関係で公共交通機関の利用が難しいので、自家用車使用がメインの生活になってきます。福祉施設の集約に関しては、利用困難になる方が出るのではないのでしょうか。
道路がきちんと整備されていて、誰がどこを通ったらよいかなどがわかりやすいまちになってほしい。事故も減るように。
一部の人間が利益を上げる箱物重視ではなく、皆の幸福感が向上するよう、文化意識を持って取り組んでほしい。 大原孫三郎氏、総一郎氏が文化や先人が残した街並みを大事にしたお陰で今の倉敷がある。文化を大事にすることが、結果的に町を繁栄させるという事が立証されている。 それに対して現在は、古い建物を壊してしまったり、美観地区の観光事業に依存しておきながらその景観を壊すような事ばかりをしている。
いろんな施設や環境が揃うのはいいことだと思いますが、渋滞緩和や歩道の整備等をしっかり対策しないと、結局は不便になってしまうと思います。
道路整備がまだまだの場所が多いので、まずは道路を整備してからではないでしょうか。
倉敷市民2年目です。倉敷は道路がガタガタで本当に危ないと思い小型の自転車を買って替えました。車からの水はね率も高く、雨の日に歩いたときには散々な思いをすることがあります。視覚障がい者の方をよくお見かけしますので、ヒヤッとすることもあります。道路の修繕も合わせて進めていただけると、誰もが快適に過ごしやすくなるのではないかと思います。
新たに街を作るより倉敷駅から半径5キロくらいの住宅地において不要な用水路の撤去や側溝化、セットバックの推進による道路の拡張整備、空き家の解体、老朽化した下水道の整備、電柱の地中化等 自然と人が住みたくなる街を作るのが良いと思う。 倉敷市は昔からの地主の力が強く、より良い街になるのを阻んでいると思う。道が袋小路になっていたり交通量が多いのに車が交わせない幅の道が多い。
コンパクトなまちづくりも必要だが、市内の道路整備が進んでおらず、緊急車両が入れない道路や使われていない側溝、用水路の蓋掛けが放置され毎年、用水路に落ちる事故が起きている。30年以上倉敷市に住んでいるが、都市計画道路も進んでおらず、新たなコンパクトなまちづくりを検討するよりも、既存の道路整備や用水路、側溝の蓋掛け、電柱の埋設化等、他にやることあるのではないのでしょうか。
倉敷市とくに中心市街地は道路が狭い。 逆に水路は大きかったり、多い。さらにフタが無いので危険。 水路にフタをし、道路の一部にして道の幅を広げるなどの整備が必要と思われる。 土地の整理などをして、医者村、公共機関の集約をして、ある程度のコミュニティ範囲ごとのまちづくり。
市道の整備、年寄りが歩きやすい道路、凹凸があるような道路は補修する。補修基準を明確に。補修依頼しても人通りが少ないから「補修」無理と言われて来た。市役所は予算内で行うので「計画以外」は難しいと回答有り。
5. 空家・土地の利活用・維持管理等について
空き家対策は必要と思うが、住み替えの促しは資金面でも心情的にも効果が上がるのだろうか。どの地域であれ、その場所でのコミュニティの機能が高まるような政策が必要ではないだろうか。
町中にどんどん高層のマンションが増えている。 しかし、将来の人口減少を考えると、ゴーストタウン化するのではと心配している。 戸建てなら、売却し、立て直しが出来るが、高層マンションではそれは簡単ではない。
市内でもスポンジ化が増加傾向にあるため、空き地を有効利用し高齢者、子育て支援に重視した施設づくりに取り組んでいけたらと思います

問17 コンパクトなまちづくりに関するご意見等を自由にご記入ください。

空地・空き家の優遇税制、撤去・整備の補助金支給。
時々、空き店舗等を見かけるので、その活用なども、確かに必要になってくるのかなと思います。
このアンケートで、「倉敷市立地適正化計画」のことをはじめて知りました。(広報には掲載されていたのだと思いますが。)空家対策と、持ち主が放置している土地(気が繁ってきていて野犬のねぐらになっている)対策をしてほしいと思います。荒れたモノが増えると安全が脅かされてくるからです。
空き家対策を進められたら良い公営住宅とか施設に利用してください。
6. その他
自動運転車のテストを早急を実施すべき。それで多くの問題が解決できる。10年20年先を読んで、どう街づくりをしていくのかが見えない。縦割り行政の弊害が一番大きい気がする。
市民全員住めますか？
老後、年上で年の離れた夫に先立たれた時に、女性でも安全に一人暮らしできる社会を望みます。
1 余りにも無秩序な宅地・マンション建設が進んで今政行政の計画は絵に描いた餅にならな あいか 2 何が障害で具現化が進まなあいのか、もっと強制力を発揮出来る箇所から着手されたい 3 市街地部分のみに財政投資がかちよっていないか 4 広報不足で市民の理解を得られていない 5 有効な予算配分がなされていないのではないか
町中は地価や家賃が高い。
最高の幸せは住人たちの暖かい交流が常時存在し助け合いの心にあふれていること。
ひとりひとり住環境に対する考えは違うので、行政がコンパクトな町にしようとしてもできるものではない。国が、農業など第一次産業で食べてゆける仕組みを作るべき。若者が地方で生計を立てられるなら、過疎、空き家、高齢者の独り暮らし、福祉、介護、…色々な問題が少しは改善されると思う。
実現しても、実際に済んでいるのが従前からの倉敷市民とは限らないのであれば、意味が薄い気がする。
今ある物を活用活性化するにも限りがあると思うと、理想ばかりではない厳しさも感じる。
何かを始める為に、必要かも判りませんが、壊れてない建物を壊し(お金もかかると思いますが)、新しい事をするのかと思えば、又建物(住居)が建ち、何の為に? 景観の為に? よく判りません。コンパクトなまち、どんな街なのでしょう。望む事は、日々の暮らしが何事もなく終わり、協力出来る事はして、身近に過ごしやすい暮らしが出来る様な、倉敷に住みたいと思える人が、一人でも多くいればと、協力出来る事は協力して。
今以上に活気のあるまちづくりをしてほしい。
まちづくりという課題は非常にむづかしくテーマがわかり辛い。「まち」とは住民の自然発生的な生活の営みの場所であって欲しいし、また、その場所は個人の自由な生活圏でもあるはずなので、「住み慣れ地域で生活したいという」思いが最優先に尊重されることが大切だと思われま。
いずれにしても老後の生活がの出来る所が望ましい。
移動販売車に充実をはかってほしい。
町内会の廃止 必要以上に地域で近所付き合いしたくない。
{商店街活性化}は見切りをつけて他の方向への展開・転換を考える時期ではないでしょうか
年を取りました、コンパクトな町づくりを考えても、元気でいられたらそれでいいです
倉敷という地でここまで開けたごみごみしたまちは望まないです。
高齢になると、便利もいいですが ある程度 緑があつて静かな所が良いです。そしてコミュニティのある場所が良いです。

問17 コンパクトなまちづくりに関るご意見等を自由にご記入ください。

集まった人達とのコミュニケーションの構築が必要。
年齢に関係なく、日頃の隣人に対する気遣いが大切だと思います。 つい先日も、1人では歩くのもままならない高齢者が、もう少しでゴミステーションなのに歩けない為、ゴミを出すのを頼まれました。気軽に頼んだり頼まれたりできる日頃の環境が大切だと思います。
必要だとは思いますが、実生活に根ざして考えてとは思えない。賛同はしても人それぞれの事情があるので、積極的に動く人は少なく、諦める=実害出るまで=今のままが多いと思う。その意味では無駄。
県外への引っ越しも含め退職後の生活について考えることがあります。倉敷のような景観と利便性の良い程良い大きさの街、他県へのアクセスも良い場所を想定しています。
都市計画地区の推進も必要ですが、市街化調整地区（農業振興地域）の地域計画の早急な取組みが重要かと思ひます。
便利が一番
地域(町)ごとに、災害の危険が少ない区域を住宅エリアとして数ヶ所に纏める。その他を商業エリア、工業エリア、農作エリア等に区分けする。 区分けすることで、交通網も複雑でなくないので巡回しやすいと思う。
どの世帯でもゆとりのある生活が出来る様にして欲しい
高齢者が安心して住めること。
インフラに予算をかけすぎないように、ある程度市街化調整区域を設けて政治主導で誘導すべき
プライバシーや隣人トラブル対応として、回覧板や〇〇委員、役員を減らす
過疎部からの移転
自然の多い過疎地に住んでいる私にとって、この上なく便利な空間だと思う。
魅力的なまちづくりだけではなく、市民税や行政との兼ね合いが見合った街が選択において重要視している
高齢者にやさしい環境を作る。 病院や役所への巡回交通網の整備。買い物支援などの施策。
運動不足になりがちになるのかな、とか思ったりしました。
お年寄りが増えるので お年寄りの動きやすい、または、お年寄りが公共機関やお店を使いやすくすること。また、それに付随したサービスをおこなうこと。
限りある予算を有効に活用出来るように本当に必要な物だけを作るとか住む人の意見をよく聞くのが大事だと思う。
車椅子の方でも住みやすい街
想像がつかない
ひとり一人が、個々に幸せが感じられるし、安心安全が最優先の町で、笑い声が響く街が有れば。
世代に違う市民が交流できる場所を増やしてほしい。
土地に縛られている人や人里離れた場所で働く人もいるので、コンパクトシティを目指すのならば交通手段を快適にするしかない上、障がいがある人、介助が必要な人を取り残さないためには行政機関が24時間365日どのような時にも対応し、誰もが平等な福祉を受けられるようにする必要があるので、税金を欧州以上に、福祉職の賃金を大幅に上げ、福祉職は高い奉仕精神を持つ人がなれる、選ばれた職業になってほしい。
コンパクトシティも同じことが繰り返されるのでは、居住者・管理者が居なくなると、同じ問題が発生。東京のような予算がたくさんある所であれば継続可能では、今の税制にも疑問？法人税は本社のある場所に支払う水島工業地帯の地元住民や近隣地域の住民が働いて得た企業の利益が東京本社の収入になって東京に税収が集まる仕組み 国に納められて都道府県に分配はされているが。

問17 コンパクトなまちづくりに関するご意見等を自由にご記入ください。

<p>もっと 目的をはっきりさせてください。 総花的なプランは 絵に描いた餅 費用対効果をきちんと検証しておく。 費用的に出来もしない施策は 施策ではない。 受益者が偏らない事 弱者の既得権を尊重しすぎると 曲がった世の中になる</p>
<p>実際岡山市のまちなかに住んでいたときは免許は持っていたが車は持ってなくても生活できた。 倉敷に住みだしてから車を購入した。</p> <p>自分から出ていかななくても 出張美容室、歯医者、往診、しれくれたら 助かる人もいるのではないか</p>
<p>様々な世代がそれぞれの考えを理解しながら共存できる街になれば良いと思います。</p>
<p>安全で暮らせるのが一番で、活気のある街づくりを期待します。</p>
<p>これからは、自給自足できるまちづくりが必要になるのではないかと思います。</p>
<p>みんながまちなかに移住したら既存の地域コミュニティはどうなりますか？</p>
<p>待ち時間のない総合病院を建てる。真備町にも一応あるが専門の先生は特定の曜日しかいないので通院しづらい。</p>
<p>現在のまちなか（倉敷駅周辺）がどどんクオリティが下がりポテンシャルが期待できない</p>
<p>人口減少化時代に適した街造り検討して行く必要がある。</p>
<p>住めば都だと思えます</p>
<p>近所付き合いの大切さ、助け合う心の醸成、人に関心を持つ事の必要性、つまり、地域への関わり的重要性と思う。</p>
<p>コンパクトに出来た街に住みたいと思っても、先祖代々の土地屋敷を離れられない。</p>
<p>問い4 この項目で毎回、30分以上が最高、峠、白尾、由加山、山村と言う所、同じ倉敷市だが駅、バス停まで1時間以上十分掛かる、なぜ1時間以上の項目を設けないのか。担当者は駅、バス停に数分で行けるとところに居住しているのでしょうか。一度弁当持って由加山に歩いてお参りに行ったらいかがですか。</p>
<p>街中と言うより、老人村の方を目指した方が良い。 映画のコクーンみたいな老人の家が点在して当院等の施設や訪問介護、食宅サービスなどを提供しているところ</p>
<p>「コンパクト・プラス・ネットワーク」は素晴らしく実現してほしいが現状その気配すら感じない 倉敷駅前、地下通路、商店街全て汚く観光に来て頂く方々に恥ずかしい つい直近まで駅前公衆電話BOXが一年近く修理中でブルーシートを巻いている姿をみて悲しくなった 方が一災害があってその公衆電話が使えて無かったらと思うと自治体の後手の対応が怖い 様々な状況が一事が万事と感じる</p>
<p>児島地区の産業を他県の人達に知ってもらえように、多くの人たちにピーアールをし商店街の活性化に取り組みをお願いしたいです。若い人たちが都会に行かずに倉敷市には水島工業地帯の発展のために多くの若者が働いているのだから、コンパクトな街づくりよりジャンボな街づくりを目指してほしいです。</p>
<p>年齢を重ねた人たちの意見をできるだけ聞くことが必須</p>